

療育研修会実施状況

静岡支部

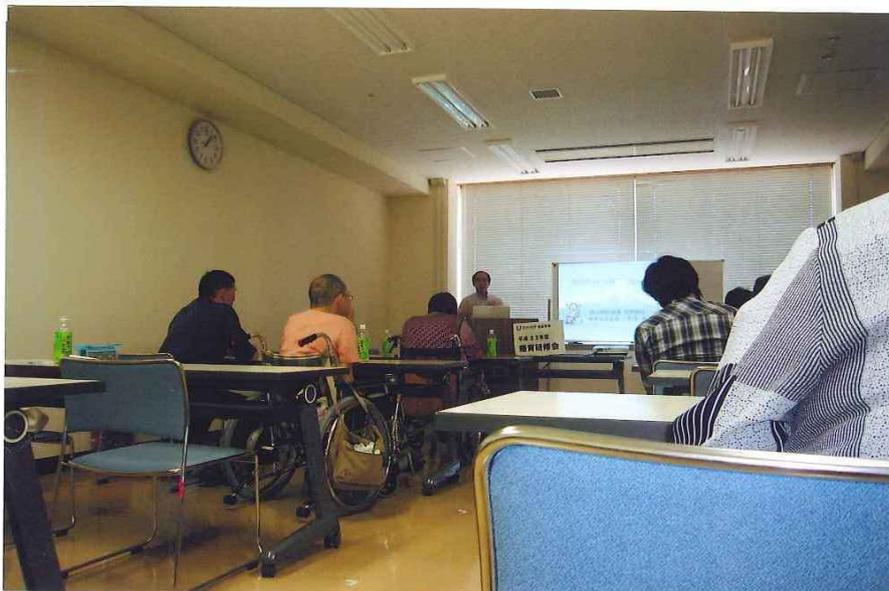
参加数 13名

テーマ: ◆筋ジストロフィーという病に立ち向かう
◆入院生活の泣き笑い

講師: 療育指導員 小野澤 直

看護師 渡辺 千賀子

実施場所: シズウェル



実施を終えて (感想等)

参加者の感想等、必ず記入して下さい。

小野澤先生による講演会は、とても分かりやすく、日本で初めて筋ジストロフィー症児が発見され、筋ジストロフィー症の患者会が設立されてから現在まで、約50年の行政の歩を説明されており、50前にできないと感じていた患者の日常生活における様々なことが、今では当たり前に行えるようになっていくと知ることができた。参加者にとって、とても励みになる内容だった。

渡辺看護師長による講演会は、箱根病院の職員が敬意を持って筋ジストロフィー症患者の看護に取り組んでいることを知ることができた。

「箱根病院に入院したい。安心して家族の入所を考えられる」という参加者の感想があり、入所が恐いと以前話していた参加者の不安を取り除くことができ、有意義な研修会になったと思う。

静 7-6



実施を終えて（感想等）

参加者の感想等、必ず記入して下さい。

小野澤先生による講演会はとても分かりやすく、日本で初めて筋ジストロフィー症児が楽見され、筋ジストロフィー症の患者会が設立されてから現在まで、約50年の行政の歩を説明されており、50年前にはできないと感じていた患者の日常生活における様々なことが、今ではあたり前にできるようになっている事を知ることができた。参加者にとって、とても励みになる内容だった。

渡辺看護師長による講演会は、箱根病院の職員が敬意を持って筋ジストロフィー症患者の看護に取り組んでいることを知ることができた。

「箱根病院に入院をしたい。安心して家族の入所を考えたい」という参加者の感想があり、入所が恐くて以前話していた参加者の不安を取り除くことができ、有意義な研修会になったと思う。

静7-7

療育研修会

静岡県 支部

◆テーマ 「筋ジストロフィーという病に立ち向かう」 講師 小野澤 直

- ・ 箱根病院の説明 ・ 五体満足があたりまえの幸せ
- ・ 筋ジス(児童の就学)の歴史 ・ 行政の歩
- ・ 現在の国の筋ジストロフィーに対する政策
- ・ 50年前と比べて、筋ジストロフィー症患者が感じていた「あたり前」と現在の患者が感じている「あたり前」の変化。
(悪いあたり前をみんなの声で良いあたり前に！)

◆テーマ 入院生活の泣き笑い 講師 渡辺 千賀子

- ・ 箱根病院(筋ジストロフィー病棟)の説明
- ・ 病棟での看護の様子(病棟内の職員の配置、仕事の割り振り、食事の工夫(スプーンの工夫、食事加工の工夫)。
- ・ 排泄について。清潔について(洗面所、入浴(手浴、足浴、洗髪)、口腔ケア)、移動について、カーソルの工夫、コミュニケーションの工夫(パソコン、文字盤等の利用)、レクリエーション、余暇活動、環境整備
- ・ 入院している患者様からのお手紙
(入所)

静岡 7-2